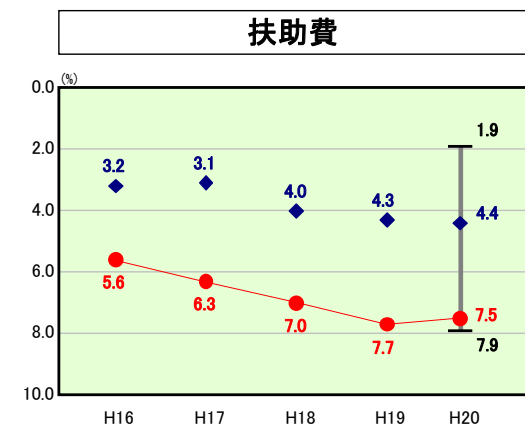
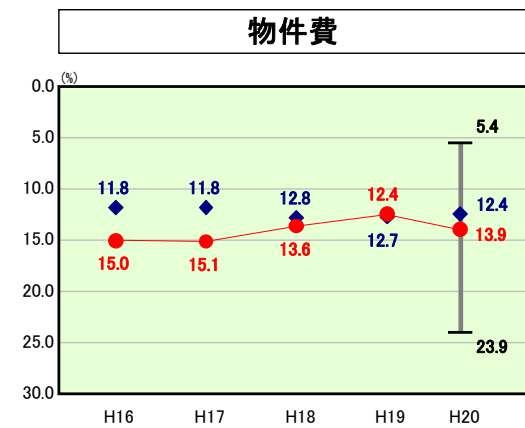
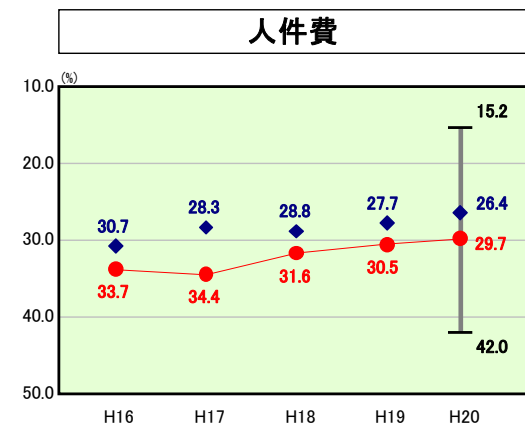
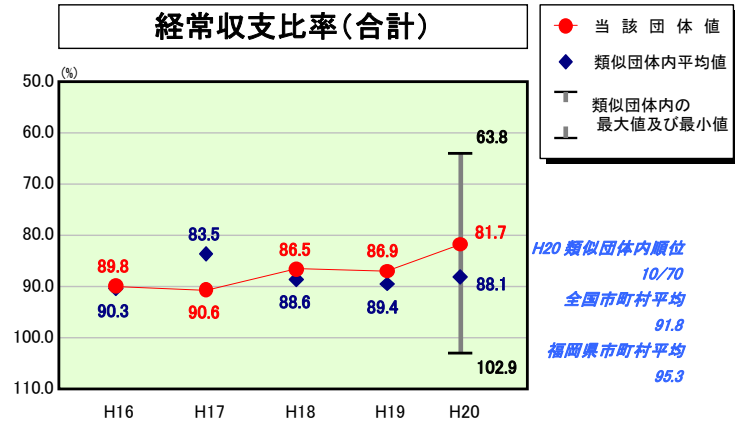
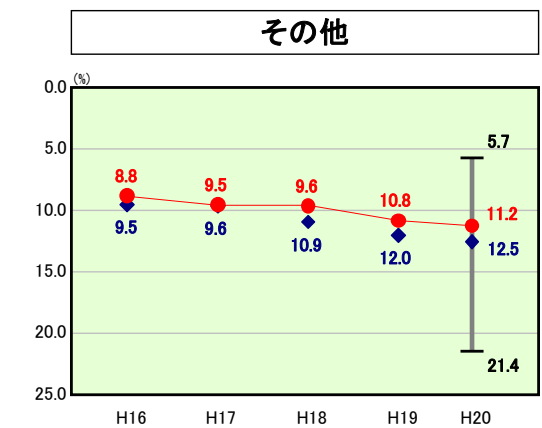
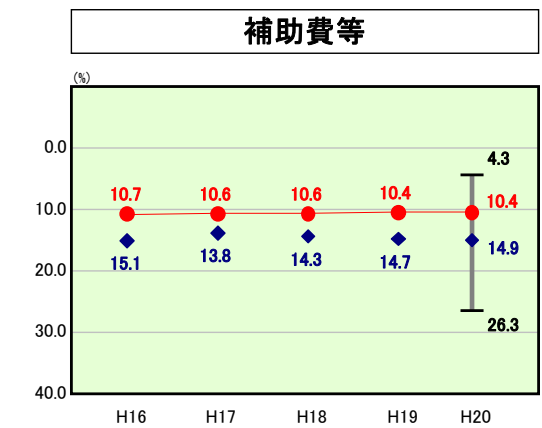
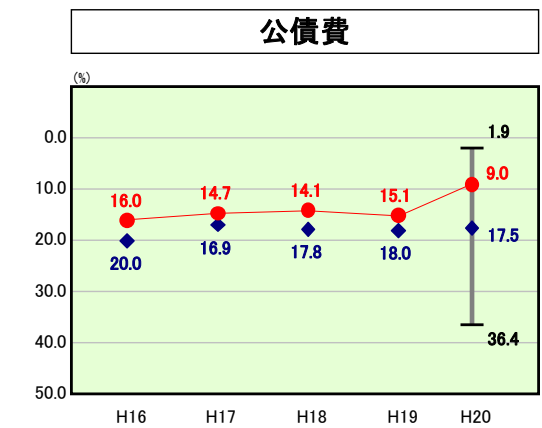
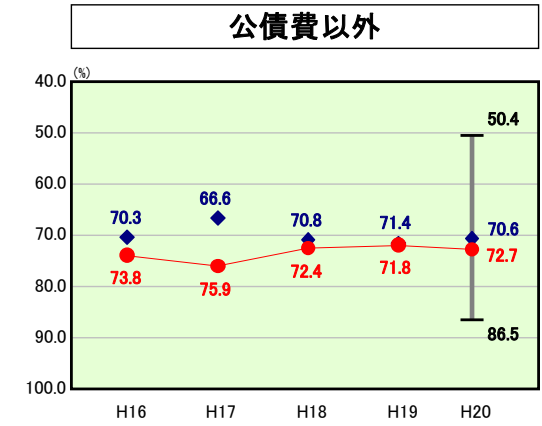
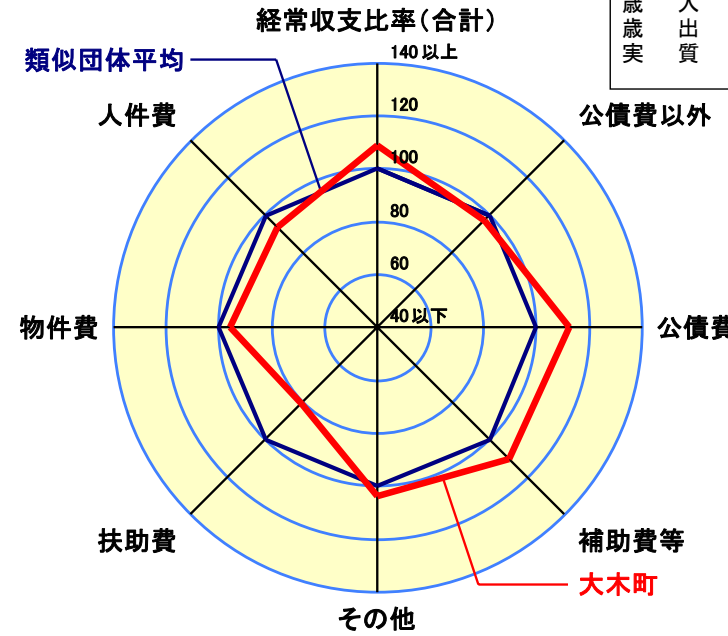


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	14,549人(H21.3.31現在)
面積	18.43km <sup>2</sup>
標準財政規模	2,956,372千円
歳入総額	4,815,060千円
歳出総額	4,553,593千円
実質収支	172,432千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

○人件費  
平成18年度より議員・農業委員の定数削減、職員の削減、職員手当の見直しなどの集中改革プランの取組により減少傾向にあったが、20年度はさらに0.8ポイントの減少となった。しかし、依然として類似団体の平均を上回っているため、今後も退職者不補充による職員数の削減などの取組を通じて人件費の削減に取り組む。

○物件費  
集中改革プランに掲げた取組により減少傾向にあったが、20年度は資源循環センター運営委託料により1.5ポイントの増加になった。今後も、ごみ減量化の取組を中心に経費の節減を徹底し、経常的な物件費削減の取組を進める。

○扶助費  
扶助費については、これまで全国平均や県平均は下回るものの、類似団体平均を大きく上回り、増加傾向が続いてきたが、20年度は前年度比0.2ポイント減少となった。しかし、依然として類似団体平均を大きく上回っているため、今後も単独事業等の見直しを進め、抑制に努める。

○公債費  
従来より、政策・施策の優先度に基づき大型整備事業の取捨選択に努めてきたことにより、類似団体平均を下回っている。起債については、今後も公債費負担の健全性維持を念頭に、適切な範囲内での活用に努める。

○補助費等  
平成18年度より補助金等検討委員会の提言に基づき各種補助金の見直しを実施してきたが、今後も適正化に努める。

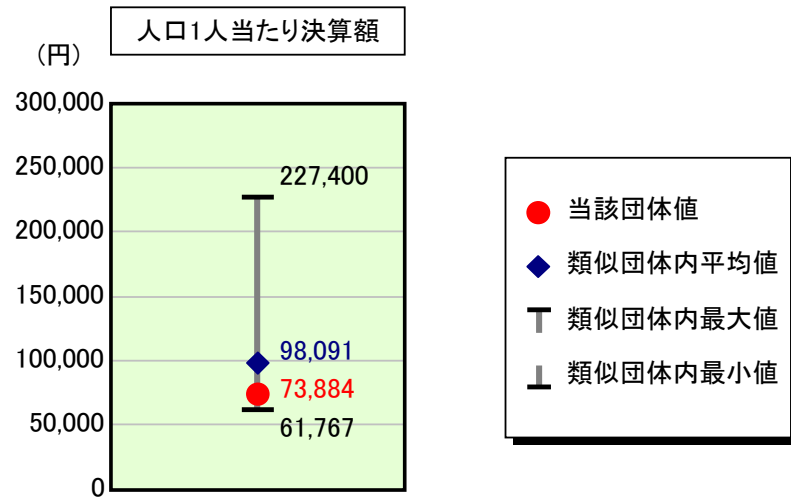
○その他  
その他に係る経常収支比率が年々増加しているのは、特別会計への繰出金の増加が要因であり、今後も医療費の増加を抑制する取組を一段と進めるとともに、保険料の適正化を図る。

○普通建設事業費  
普通建設事業費の人口1人当たり決算額は、資源循環センター建設事業と中学校の大規模改修事業が重なった平成18年度以外は類似団体平均を下回る額で推移してきたが、21年度は循環センター2期事業や図書・情報センター、文化ホール、道の駅など大型整備事業が集中するため、増加が予想される。新規の事業については、今後も健全な財政運営を念頭に、事業の選択と集中を一層図りながら実施していく。

# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

福岡県 大木町

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



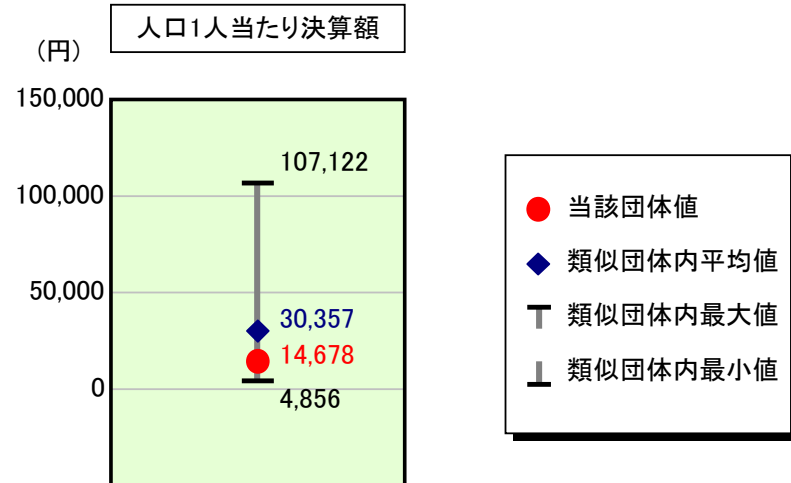
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
人件費	943,447	64,846	82,436	▲ 21.3
賃金(物件費)	50,161	3,448	6,151	▲ 43.9
一部事務組合負担金(補助費等)	120,025	8,250	11,907	▲ 30.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	587	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	31,478	2,164	3,840	▲ 43.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	10,373	713	1,902	▲ 62.5
▲退職金	▲ 80,543	▲ 5,536	▲ 8,732	▲ 36.6
合計	1,074,941	73,884	98,091	▲ 24.7

### 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.74	9.41	▲ 2.67
ラスパイレス指数	101.6	93.9	7.7

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

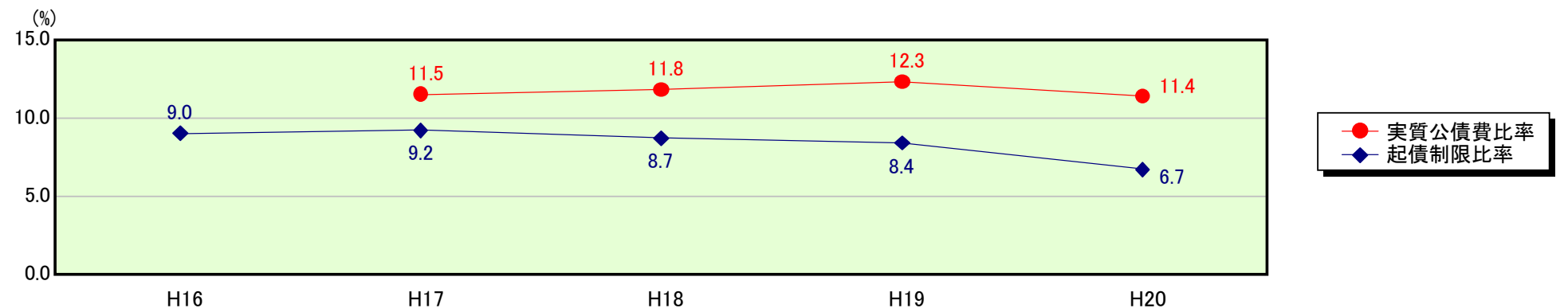


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比 (%)
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	266,066	18,288	48,815	▲ 62.5
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	4	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	64	4	12,525	▲ 100.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	20,467	1,407	6,657	▲ 78.9
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	138,890	9,546	1,586	501.9
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	22	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 211,938	▲ 14,567	▲ 39,252	▲ 62.9
合計	213,549	14,678	30,357	▲ 51.6

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

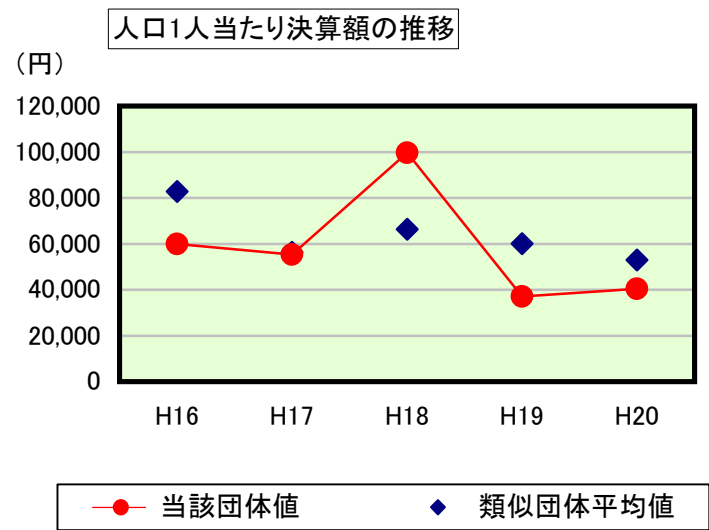
### ※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

福岡県 大木町

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	863,414	59,893	6.8	82,781	0.8	6.0
うち単独分	371,895	25,797	▲ 3.8	52,738	7.9	▲ 11.7
H17	806,905	55,267	▲ 7.7	56,261	▲ 32.0	24.3
うち単独分	207,389	14,205	▲ 44.9	37,300	▲ 29.3	▲ 15.6
H18	1,450,916	99,692	80.4	66,287	17.8	62.6
うち単独分	204,373	14,042	▲ 1.1	36,581	▲ 1.9	0.8
H19	540,875	37,110	▲ 62.8	60,088	▲ 9.4	▲ 53.4
うち単独分	131,877	9,048	▲ 35.6	30,773	▲ 15.9	▲ 19.7
H20	588,661	40,461	9.0	52,940	▲ 11.9	20.9
うち単独分	182,549	12,547	38.7	28,496	▲ 7.4	46.1
過去5年間平均	850,154	58,485	5.1	63,671	▲ 6.9	12.0
うち単独分	219,617	15,128	▲ 9.3	37,178	▲ 9.3	0.0